



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年10月15日 第940号「週刊五十嵐レポート」

むずかしいことをやさしく

「論語」、「易経」、「孫子の兵法」の子供向けの本がある。

「小学生のための論語」の内容は、1. どのように生きていいんだろう 2. 勉強ができるようになりたい 3. 友だちと仲良くするには 4. 世の中の役に立つ人になりたい。

「こども孫子の兵法」の内容は、1. 勝つためのヒント 2. 夢をかなえるヒント 3. 困難に立ち向かうためのヒント 4. もう一步を踏み出すためのヒント。

「こどものための易経」の内容は、1. もっと成長したい 2. 苦しいときをのりこえよう 3. まわりの人となかよくするには 4. 賢く、かっこよく、生きていこう。

実際に子ども向けに「やさしい日本語」で書かれているのでわかりやすい。大人が読むと入門書になる。中小企業では従業員教育にもなる。難しい日本語の本はいくらでもあるが、やさしくてわかりやすい本は少ない。

9月30日付、朝日新聞のコラム「ひと」は、「こども六法」を出版した山崎聡一郎氏。刑法やいじめ防止対策推進法などを動物のイラスト入りで解説した「こども六法」を8月に出して、15万部のベストセラーに。

小五の時、ぶたれたりして手首を骨折した。先生は加害者に「ごめんなさい」、自分には「いいよ」と言わせる「仲直りの儀式」をさせて終わりだった。「ごめんですめば警察はいらん」と思い続けた。

図書館で六法全書に出会った。傷害罪、暴行罪。受けた行為が法律違反だと気づいた。慶応大に進み法教育を知る。「法律は全ての人のためのものなのに子どもが読めないのはおかしい」。「頼れる大人はいっぱいいる。SOSを出せなくても自分は間違っていないとわかってほしい」。

むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく(井上ひさしの言葉より)。専門用語を使って、難しく話すのは簡単。子どもにわかるように話すことは難しい。その分野に精通していることと日本語を知らないと噛み砕けない。力量が問われる。

ちよつと
最近の出来事

私が生まれてから最大の台風が関東にやってきた。

そのため、12日(土)戦略社長塾の中止を余儀なくした。この日は、鉄道、百貨店、スーパー、飲食店、コンビニが休んだ。ほぼ東京が休んだことになる。こんなことははじめて。住んでいる江戸川区は0メートル地帯。江戸川が決壊したら浸水する。幸運にも川の水は土手を越えることはなかった。

翌13日(日)は快晴ながら交通網が混乱しており、事前に日曜の戦略社長塾の中止を連絡。

テレビや新聞を見ると、被害は甚大。37河川52ヶ所で堤防が決壊。周辺が大規模に浸水。

自然は恵みももたらすが、災害ももたらす。特に「水」。「上善水の如し」と水のあり方を人間の理想にした(老子)。しかし、度を越すと恐ろしいものになる。

NHKのニュースで「自分の命は自分で守る」という言葉を何回も言った。国や自治体に頼るのではなく、「自分自身」で守る。ここが原点。



一口メモ
知識

ブッタが悩まないのはなぜか

ブッタが安らぎに住しているのは、智慧があるからです。

ブッタがなぜ悩まないのかというと、智慧によっていつでも正しい答えをもっているからです。

ブッタにとっては、どんなことが起きてもかまわないのです。瞬時に正しい対応がひらめくからです。

智慧のない人は、何かあったら「どうしよう、どうしよう」と悩むのです。

「ブッタの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムツレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

Tel.03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

